

日本の漫画とその文化

選択(2単位) 水2時限 教員氏名: 森 功次

開講年度 2018年度

開講学期 2018年度(前期)

【授業種別】 授業は、週1回(90分)で15週。欠席が3分の1以上の場合は不合格となる。遅刻と早退を計3回すると、1回の欠席となる。また30分以上の遅刻と早退は欠席とする。

【授業概要】 日本のさまざまな漫画をとりあげ、漫画文化について受容者・製作者・出版社など多面的な観点から考察し、現代日本の理解につなげる。

【授業計画】 この授業では、日本の漫画作品を読み解きながら、そこで用いられている技法の見方を学ぶとともに、そこに描かれる日本文化・日本社会の特徴について考察する。履修者には、漫画を通じて日本文化と自国の文化との違いを考察し、発表・ディスカッションをしてもらう。また、授業では、漫画家の制作風景を取り上げる映像やアニメなども資料として用いる。

【授業目標・内容】 漫画という現代のメディアを利用することで現代の生きた日本語を学び、それとともに、作品に描かれる日本社会の特徴を学ぶ。(そのため授業であつかう漫画は主に日本文化が読み取れる漫画となる。) また漫画を読解し、それについて話し合う経験を積むことで、日本語で論理的に自分の考えを表現する力を養う。

【授業時間外の学習】 たくさん漫画を読み、友人と話し合うことを求めます。また漫画文化について、日頃から各種メディアのニュースにアンテナを張り、授業での発表・ディスカッションに活かすこと。

【評価基準】 授業出席3分の2以上を評価対象とする。採点は毎回の授業後に提出するリアクションペーパー50%、漫画感想文50%とする。

S(100~90点) A(89~80点) B(79~70点) C(69~60点) D(59点以下)

【教材】 履修者の日本語能力を勘案しつつ、授業中に提示する。参考文献などは適宜授業中に紹介する。

【その他】 質問はできるだけ授業中にすること。それができない場合は、授業の前後に直接質問するか、メールで。